

新日本婦人の会第32回全国大会議案

新日本婦人の会は9月6日、東京都内で第194回中央委員会を開き、11月2・3日に開く第32回全国大会の議案を決定しました。

歴史の岐路、いのちと地球をまもれ 要求実現へ行動する新婦人いまこそ大きく

第1章 戦後・被爆80年、 日本と世界の女性・市民がともに

「こんな日本でいいの
か」「自民党政治はもう
終わりに」――裏金問題と
経済無策への有権者の怒
りが、自民・公明両党を
衆議院に続き、参議院選
挙でも少数与党に追い込
みました。

石破政権は、賃金も年
金も追いつかない物価
高、主食の米さえ市場任
せて供給不足と価格高騰
を招いています。気候変
動による猛暑や豪雨はい
のちや暮らし、農林漁業
を脅かし、能登半島をは
じめ被災地は放置され
ままです。福島原発事
故がなかったかのよう
に、原発の再稼働、新増
設までしようとしていま
す。2024年の出生数
は70万人を下回り、中小
学校の不登校児童生徒が
過去最多の34万人を超え
ました。

非正規雇用と貧困を拡
大し、大企業や富裕層に
は大幅減税、庶民には消
費増税や社会保障削減
も「日本人ファースト」

減、高い教育費や競争・
管理の教育などを押し付
けてきた新自由主義の政
治は、もはや破綻してい
ます。

日本でも世界でも、貧
富の極端な格差、加速す
る気候危機、イスラエル
によるガザでのジェノサ
イドやロシアのウクライ
ナ侵略など止まぬ戦火に
直面しています。アメリ
カは同盟国に大軍拡を迫
り、どこでも暮らしの予
算が圧迫されています。

日本では、43兆円の軍
拡、長射程ミサイル配備
常態化する軍事訓練・演
習、米軍の指揮のもと「台
湾有事」のシナリオで自
衛隊を最前線で戦わせる
軍事化を着々とすすめて
います。軍事研究を拒否
する日本学術会議の解体
法まで強行しました。

各国で、暮らしの不安
先が見えない政治への不
満に乗じて、極右勢力が
台頭しています。日本で
も「日本人ファースト」



194回中央委員会

絶しかなくと全世界にさ
らなる行動を呼びかけて
います。2026年の国
連核不拡散条約(NPT)
再検討会議、核兵器禁止
条約検討会議に向けて、
核保有国と唯一の戦争被
爆国の日本政府に厳しく
迫る時です。

人類と地球の存続のた
めに、差別や分断を乗り越え、戦争も核兵器もな
い世界へ、大軍拡でなく、
貧困や気候危機対策に大
きな予算をと、世界中で
力を合わせましょう。憲
法が生きる新しい政治の
実現へ、「五つの目的」
を掲げ、草の根から行動
し、世代を超えてつな
がらう。新婦人は希望です。暮
らして平和、ジェンダー
平等、気候正義を新婦人
でいっしょにと、たくさ
んの会員を迎えて、誰も
が自分らしく生きられる
社会をみんなで築いてい
きましょう。

第2章 2年間の活動のまとめ

1、この間の活動に共通する特徴

被爆80年の年に、班や
支部からの原爆展が全国
でとりくまれました。

新婦人しんぶんを讀ん
でおしゃべりする「しん
ぶんタイム」を班でも要
求別組(サークル)で
もつよめたことが、行動
する班と会員を増やし、
運動と組織活動を一体に
推進する力となりました。
「ヘイトと分断が持ち
込まれた選挙のなかで
も、選挙班会・しんぶん
タイムや選挙カフェで、
「ここなら安心してしゃ
べれる」と、政治のおし
やべりになり、スタンデ
ィングなどの運動や仲間
づくりにつながりまし
た。行動する新婦人に共
感した入会も、全国各地
で広がっています。

2、全国でとりくんできた 運動と仲間づくり

一人ひとりの生の声を
アンケートで集め、自治
体や国へと迫りました。
「新婦人に入って国会へ
行く」と呼びかけ、国
會議員に直接訴え、地元
でも議員に働きかけてき
ました。

オンラインで全国がつ
ながって学び合うとりく
みが喜ばれ、活力を生ん
でいます。テーマ別の学
習・報告会、全国の活動
交流会や支部・県の経
験を聞く会が旺盛に関
わり、基地強化やめよの行
動

「米不足・陳列販売状
況緊急チェック」(77
0人)、「米不足・米価高
騰緊急アンケート」(4
422人)で消費者とし
て社会にアピールし、地
元国會議員や県、国の出
先機関に要請しました。
消費増税、インボイス
廃止、マイナンバー保険
証強制と現行の健康保険
証廃止反対の共同行動を
つよめています。高額療
養費上限引き上げ、訪問
介護の介護報酬引き下げ
に対し全国からリアルな
告発を集め、上限引き上